

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

初めての取組！

アフリカ諸国への研修をオンラインで実施します！

～横浜から発信する国際協力の新しいかたち～

水道局は、令和3年1月18日から10日間にわたり、JICA(独立行政法人国際協力機構)及び横浜ウォーター株式会社と連携して、アフリカ諸国の研修員を対象に、水道事業に関わる研修を実施します。新型コロナウイルス感染症の影響で各国間の渡航が困難な状況のため、日本からオンラインで遠隔研修を実施することになりました。

【概要】

1 研修名

JICA 課題別研修「アフリカ地域 都市上水道技術者養成」

2 研修期間(予定)

令和3年1月18日(月)から1月29日(金)まで(土日を除く10日間)

3 参加国(予定)(五十音順)

アフリカ6か国(ケニア、マラウイ、南アフリカ、南スーダン、リベリア、ルワンダ)

4 実施方法

日本とアフリカ各国の時差を考慮し、事前に作成した動画教材を上記日程内に研修員が視聴するオンデマンド方式^{*1}で行います。これにウェビナー^{*2}(Webを使ってリアルタイムに双方向で意見交換)を組み合わせ、講義の振り返りや質疑応答、意見交換等を行って効率的で効果的な研修となるよう工夫します。

^{*1}オンデマンド方式(On Demand): ユーザの要求に応じてサービスを提供すること

^{*2}ウェビナー(Webinar): ウェブ(Web)とセミナー(Seminar)を組み合わせた造語

5 研修内容

(1) 動画教材による講義(オンデマンド方式・15講座)

浄水処理や水質管理、配水管理、水道計画、施設管理などの技術面に加え、料金管理や顧客管理、顧客サービス、経営計画など、水道事業全般の講義さらに新型コロナウイルス感染症対策等の危機管理も紹介

(2) ウェビナー(Webinar)

開始時のオリエンテーション、中間・最終の講義振り返り・質疑応答・意見交換等をオンラインにて、対話形式で実施

(3) 横浜水ビジネス協議会^{*3} 会員企業の技術紹介

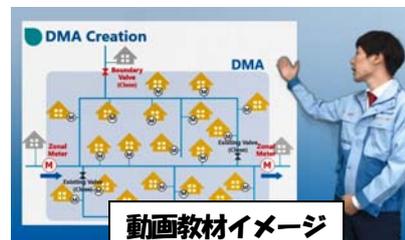
会員企業の技術等のPR動画を配信して、日本の技術を紹介

^{*3}会員企業(現在177社・団体)の海外水ビジネス展開と市内経済の活性化を目指す協議会

現在、動画を順次作成中！

ぜひご取材ください♪

(取材可能期間は下記お問合せ先まで)



動画教材イメージ

【背景】

本研修は、2008(平成20)年5月に横浜で開催された第4回アフリカ開発会議を契機として始まり、2019(令和元)年度までに13回実施し、30か国から133人の上水道技術者を横浜に招へいしました。

水道は、アフリカの多くの国々で重要な都市課題のひとつです。今回参加予定の6か国においても、水道事業に多くの問題を抱えており、水道事業体が供給する水道水のうち、30～50%が漏水や盗水などで収入に結びつかないなどの問題に直面しています。参加者は研修を通じて自らの課題解決のための方策を検討します。

本研修に加えて、マラウイ国への職員派遣、横浜ウォーター株式会社と連携したアフリカ地域への技術協力など、さまざまな手法でアフリカ諸国の水道事業の課題解決に取り組んでいます。

～横浜ウォーター株式会社は、横浜市の有する上下水道事業ノウハウを生かし、国内外の課題解決に貢献します～

お問合せ先

水道局事業推進部担当課長(国際技術担当) 下田 透 TEL 045-671-4650

横浜ウォーター株式会社 広報室室長 酒井 洋 TEL 045-651-6100